

環境だより



環境課 ☎66・1121

動物愛護週間は、動物の愛護と適正な飼育についての関心と理解を深めるために、「動物の愛護および管理に関する法律」に基づいて設けられています。

この機会に、私たちが飼っている動物について、もう一度考えてみましょう。

【動物の飼主の責任】

- ① 動物の習性や病気などを正しく理解し、最後まで責任をもって飼いましょう。
- ② 住民に危害や迷惑をかけることのないようにしましゅう(人間と犬が同じ社会の中でうまく暮らしていくためには犬のしつけが大切)。
- ③ むやみに繁殖させないようしましゅう。

動物愛護週間(9月20日～26日)

④ 動物には、鑑札や名札を付けましょう。

【犬の飼主の義務】

- ① 犬の登録をし、狂犬病予防注射を受ける。
- ② つないで飼う。
- ③ フンの処理、鳴き声で近所に迷惑をかけないようにする。

【猫の飼育は室内で】

猫の交通事故死、妊娠、伝染病を防止するため、猫は室内で飼育しましょう。

今年度、愛知県動物保護管理センターのテーマは「ともにすこしとにも生きる」です。

東三河支所では、「家族さがし」(譲渡)、「動物ふれあい教室」、「しつけ相談」、「出前しつけ教室」、「体験学習」の事業を、一年間を通して実施してましょう。

【問合せ先】

愛知県動物保護管理センター
東三河支所

☎05332◆33◆3777



水族館



学芸員 小林龍二

竹島水族館 ☎68・2059

先日、入ったばかりの新人

S君に、初めて小型水槽の展示を任せてみました。最初のうちは底に敷く砂などを選ぶのにも、とても悩んだりしていましたが、最終的には水草まで植えるほど展示をしつかり完成させました。お客さんの反応も上々で、彼も自信になったことと思います。

さて、私たち飼育職員の名刺の肩書きは「飼育員」ではなく「展示係」になってましょう。これは水族館の仕事が飼育ではなく展示だからです。生き物をいい状態で観てもらうためにうまく飼育するのが基本なので、展示の中に飼育が含まれてましょうのです。少し暴露をしましょうと、

飼育係は展示係

飼育員は、生き物はうまく飼えても、もう一方で展示にとって重要な「水槽作り」を不得手としていることがあります。無造作に石が一つ転がっているだけの水槽、植えられた水草が不自然だったり、枯れていたりなど、水槽全体として見ると、少し見かけましょう。

水槽の展示は絵画に似ているところがあり、こだわって作られた水槽は、見た人の目だけでなく、心に浸透するような感じになります。

実は、そういった「魅せる」という意味では巨大水槽を保有する水族館よりも、小さな水槽で一からすべて自分で作り上げる愛好家の方がレベルが高いとも言えます。水族館に来ていただける皆さんや愛好家の方に水族館が教ええられることは案外多いのです。こうして水族館が良くなっていくという例は当館だけではなく、全国の水族館でもみかけましょう。